

## 第6回 三重クロス表の作成と解釈(実習)

三重クロス表をつかった分析を経験する。  
課題1は、授業時間内に作成し、提出する。  
課題2は、6月1日までの宿題とする（ただし、授業時間内に余裕があればやってしまっても構わない）。

【課題1】 つぎの2つの仮説について、データを使って検証する。

仮説1 学歴が高ければ高いほど、所得が高くなる傾向がある。

仮説2 年齢が高ければ高いほど、所得が高くなる傾向がある。

実習課題① 年齢を統制しても、仮説1がデータによって支持されるかどうかを検証する。

実習課題② 学歴を統制しても、仮説2がデータによって支持されるかどうかを検証する。

実習課題③ 念のため、年齢と学歴との関連がどうなっているかを調べる。仮説としては、高学歴化の影響から、年齢が若ければ若いほど、学歴が高くなる傾向があると予想される。

レポート課題① 実習課題①と実習課題②を踏まえて、レポートを作成する。

テーマ「学歴と年齢が所得に及ぼす効果について(2)」

仮説：上記の2つ

分析方法：クロス集計表と三重クロス集計表を使用

分析結果：学歴×所得、年齢×所得、年齢を統制した場合の学歴×所得、学歴を統制した場合の年齢×所得

考察：2つの仮説は検証されたのか？

提出先：「三重クロス表1」という文書名をつけて、自分のフォルダに保存したうえで、V-Campus CHORUSの「社会学データ実習」→「レポート課題」→「三重クロス表(1)」をひらき、ファイルを転送してください。

【課題2】 新たな仮説（仮説3）についてデータを使って検討する。

仮説3 女性よりも男性のほうが、所得が高くなる傾向がある。

実習課題④ 性別(q42a)が所得に及ぼす効果についてのクロス表分析

実習課題⑤ 学歴を統制しても、仮説3がデータによって支持されるかどうかを検証する。

実習課題⑥ 年齢を統制しても、仮説3がデータによって支持されるかどうかを検証する。

レポート課題② 「性別が所得に及ぼす効果について」

仮説：主要にはひとつ（仮説3）、分析方法、分析結果、考察にわけてレポートを作成する。

提出先：「三重クロス表2」という文書名をつけて、自分のフォルダに保存したうえで、V-Campus CHORUSの「社会学データ実習」→「レポート課題」→「三重クロス表(2)」をひらき、ファイルを転送してください。